

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

- 障害保健福祉圏域ごとに保健・医療・福祉の検討や研修会を開催している。また、圏域での課題の検討等を通して、関係機関の連携強化につながっている。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
県でも圏域ごとでも、地域包括ケアシステムの構築を念頭においた検討が不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の保健医療福祉の協議の場の連携について案を作成し、会議等で共有した。 ・ 県保健福祉事務所を中心に、圏域状況にあわせた地域包括ケアシステムの構築に向け、課題抽出・整理、今後の取組についての検討を行った。 	関係機関が集まり検討することで、地域の現状や課題の共有を図ることができ、連携強化につながった。
居住先を含め地域の社会資源が不足しており、地域の支援体制整備が不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースを通し関係機関が連携し、支援体制整備を図った。 ・ 施設職員等の精神障害者支援に対する苦手意識により受入が難しくなる場合もあることから、障害に対する理解促進及び支援技術向上のため、研修会や事例検討会を行った。 	ハード面の受け皿整備は追いついていないが、ケース支援や研修等の機会を通じて顔の見える関係を築くことができ、支援体制整備の一助となった。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置(障害福祉圏域ごと・市町村ごと)	圏域7/7 市町村16/35(H31.2月国アンケート結果)	全ての圏域・市町村に設置(R2年度末まで)	市町村の状況にあわせた協議の場の設置に向け、県保健福祉事務所ごと課題抽出や検討に向けた支援を継続する。県障害者自立支援協議会等を通じて協議の場設置状況について把握する。
精神病床における1年以上長期入院患者数	(H28)3,188人	(R2)2,785人以下	医療機関等において、早期退院・長期入院者の退院に向け取り組んでおり、1年以上の長期入院患者数は減少傾向にある。
精神病床における早期退院率	(H28)3ヶ月53.1%, 6ヶ月76.7%, 1年85.1%	(H28)3ヶ月69%, 6ヶ月84%, 1年91%	医療機関と地域が連携し早期退院に向け取り組むことで、退院率上昇を目指す。

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。